

湘南鷹取2丁目自治会 会則

第1章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は、湘南鷹取2丁目自治会（以下本会という）と称する。

(目 的)

第 2 条 本会は、会員相互の連絡及び環境の整備、福利の増進、集会施設の維持管理並びに文化の向上をはかり、地域の自治発展に寄与することを目的とする。

(区 域)

第 3 条 本会の区域は横須賀市湘南鷹取2丁目とする。

(事務所の所在地)

第 4 条 本会の事務所は湘南鷹取2丁目11番12号に置く。

第2章 会 員

(会員の資格)

第 5 条 第3条に定める区域に住所を有する個人は、本会の会員となることができる。

(入 会)

第 6 条 本会に入会しようとする者は、入会申込書を会長に提出しなければならない。

2 本会は、正当な理由がない限り、前条に定めた会員の資格を有する個人の入会を拒むことができない。

(会 費)

第 7 条 会員は総会において定める会費を納入しなければならない。

2 生計を一にする同一世帯内の会員の会費については、一人分の会費を納めることにより、他のものの納入はこれを免除することができる。

(退 会)

第 8 条 本会を退会しようとする者は、退会届を会長あて提出するものとする。

2 会員が死亡し又は区域内に住所を有しなくなったときは、退会したものとする。

第3章 役 員

(役 員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 3名以内
- (3) 会 計 2名以内
- (4) 担当役員 各2名以内
- (5) 監 事 2名以内

2 役員は総会において会員の中から選任する。

3 役員は、相互に兼ねることができない。

(役員の仕事)

第10条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長が指定した順序に従い、その職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行なう。

- 3 会計は、本会の金銭出納について分掌する。
- 4 担当役員は、別に定める本会の会務を分掌する。
- 5 監事は、地方自治法第260条の12に定める次の職務を行なう。
 - (1) 本会の会計及び資産の状況を監査すること。
 - (2) 会長、副会長その他の役員の実務執行の状況を監査すること。
 - (3) 会計及び資産の状況又は業務執行について不整の事実を発見したときは、これを総会に報告すること。
 - (4) 前号の報告をするため必要があると認めるときは総会を召集すること。

(役員任期)

第11条 役員任期は1年とする。ただし再任を妨げない。

- 2 補欠により選任された役員任期は前任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任し又は任期が満了した場合においても、後任者が就任するまではその職務を行わなければならない。

(役員解任)

第12条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会において、会員の3分の2以上の同意により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったと認められるとき。

第4章 総会

(総会)

第13条 総会は、会員をもって構成する。

- 2 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

(総会の機能)

第14条 総会は、この会則に別に定めるもののほか、本会の運営に関し、重要な事項を議決する。

(総会の開催)

第15条 通常総会は、毎年4月に開催する。

- 2 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。
 - (1) 会長が必要と認めるとき。
 - (2) 会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき。
 - (3) 監事が地方自治法第260条の12第4号の規定により招集するとき。

(総会の招集)

第16条 総会は、前条第2項第3号に規定する場合を除き、会長が招集する。

- 2 総会を招集するには、会員に対し、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、開会の日の5日前までに文書をもって通知しなければならない。

(総会の議長)

第17条 総会の議長は、その総会において、出席した会員のうちから選出する。

(総会の定足数)

第18条 総会は、会員の過半数の出席がなければ開会することができない。

(総会の議決)

第19条 総会の議事は、この会則に別に定めるもののほか、出席した会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会における書面表決等)

第20条 やむをえない理由のため、総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、出席した会員とみなす。

(総会の議事録)

第21条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 総会の日時及び場所

(2) 会員の現在数

(3) 出席した会員の数（書面表決者及び表決委任者の場合にあつては、その旨を付記すること。）

(4) 議決事項

(5) 議事の経過の概内容及びその結果

(6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2名以上が署名押印しなければならない。

第5章 役員会

(役員会)

第22条 役員会は、監事を除く役員をもって構成する。

(役員会の権能)

第23条 役員会は、この会則に別に定めるもののほか、次の事項について議決する。

(1) 総会の議決した事項の執行に関すること

(2) 総会に付議すべき事項

(3) その他総会の議決を要しない本会の会務の執行に関する事項

(役員会の開催)

第24条 役員会は毎月1回定例会を開催するほか、役員 $\frac{3}{10}$ 以上から会議の目的たる事項を示して請求があつたときに開催する。

(役員会の招集)

第25条 役員会は会長が招集する。

2 役員会を招集するには、役員に対し、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、開会の日の5日前までに文書をもって通知しなければならない。

(役員会の議長)

第26条 役員会の議長は、会長がこれに当たる。

(役員会の定足数)

第27条 役員会は、役員 $\frac{3}{2}$ 以上の出席がなければ開会することができない。

(役員会の議決)

第28条 役員会の議事は、出席した役員 $\frac{3}{2}$ 以上の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(役員会における書面表決)

第29条 やむをえない理由のため、役員会に出席できない役員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決することができる。この場合において、前2条の規定については、出席した役員とみなす。

(役員会の議事録)

第30条 第21条の規定は、役員会の議事録について準用する。この場合において同条中「総会」とあるのは「役員会」と、「会員」とあるのは「役員」と、「書面表決者及び表決委任者」とあるのは「書面表決者」と読み替えるものとする。

第6章 資産、事業計画等

(資産の構成)

第31条 本会の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財産目録に記載された財産
- (2) 会費
- (3) 活動に伴う収入
- (4) 資産から生ずる収入
- (5) その他の収入

(資産の管理)

第32条 本会の資産は、会長が管理し、その方法は、会長が役員会の議決を経て定める。

2 本会の資産で、第31条第1号の資産を処分し、又は担保に供する場合には、総会において4分の3以上の議決を要する。

3 本会の経費は、資産をもって支弁する。

(事業年度)

第33条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第34条 本会の事業計画及び収支予算は、事業年度ごとに会長が作成し、総会の議決を得なければならない。

2 前項の規定にかかわらず、年度開始後に予算が総会において議決されていない場合には、会長は、総会において予算が議決される日までの間は、前年度の予算を基準として収入支出をすることができる。

(事業報告及び収支決算)

第35条 本会の事業報告及び収支決算は、事業年度ごとに会長が事業概容報告書、収支計算書、財産目録等を作成し、監事の監査を経て、その年度終了後3箇月以内に総会の承認を得なければならない。

(長期借入金)

第36条 本会が資金の借入をしようとするときは、総会において、会員の4分の3以上の同意を得なければならない。

第7章 会則の変更及び解散

(会則の変更)

第37条 この会則は、総会において、会員の4分の3以上の議決を得、かつ、横須賀市長の認可を得なければ変更することができない。

(解散及び残余財産の処分)

第38条 本会は、次の事由により解散する。

(1) 破産

(2) 横須賀市長の認可取消し

(3) 総会の決議

(4) 構成員の欠亡

2 総会の決議に基づいて解散する場合は、会員の4分の3以上の同意を得なければならない。

3 解散のときに存する残余財産は、本会と類似の目的を有する団体に寄付する。

第8章 雑 則

(委 任)

第39条 この会則の施行について必要な事項は、総会の議決を経て役員会が別に定める。

付 則

1. 本会則の施行は、認可地縁団体として横須賀市長の認可を受けた日からとする。

2. 本会則の施行にともない、昭和54年5月1日施行の会則は、これを廃止する。

3. 平成16年6月1日、一部改正

4. 平成22年4月18日、一部改正

付 記

横須賀市指令市市第28号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第260条の2第1項の規定により認可する。

平成7年6月12日 横須賀市長

横須賀市指令市市第31号

平成16年4月21日付の規約変更認可申請については、地方自治法第260条の2第15項で準用する民法第38条第2項の規定に基づき、認可する。

平成16年6月1日 横須賀市長

横須賀市指令市市第15号

平成22年4月27日付の規約変更認可申請については、地方自治法第260条の3第2項の規定に基づき、認可します。

平成22年(2010年)4月27日 横須賀市長

湘南鷹取2丁目自治会 細則

第1章 本会の事業と組織

(会 務)

- 第 1 条 本会は会則第2条の定める目的を達成するため次の会務を行う。
- (1) 交通安全に関すること。
 - (2) 防災、防火、防犯に関すること。
 - (3) 広報活動に関すること。
 - (4) 環境、衛生に関すること。
 - (5) 慶弔に関すること。
 - (6) 福祉、青少年の健全育成に関すること。
 - (7) 会館施設の維持管理に関すること。
 - (8) その他本会の目的達成に必要と役員会が決議した事項に関すること。

(組 織)

- 第 2 条 前条の会務を遂行するため役員会の下に次の組織を設置する。
- (1) 班
 - (2) 常任委員会
 - (3) 役員会の決議により設置する専門委員会

第2章 班

(班の区分)

- 第 3 条 会則第3条に定める本会の区域のなかに24の班を設置する。
- 第 4 条 設置された班を次の4ブロックに分ける。
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 第1ブロック | 1～ 5班、 | 第2ブロック | 6～12班 |
| 第3ブロック | 13～17班、 | 第4ブロック | 18～24班 |

(班 長)

- 第 5 条 班を組織した会員は班を代表する班長を選出する。
- 第 6 条 班長の任期は2か月とする。
- 2 班長は任期終了時に必要事項を次期班長に引継ぐものとする。

(班長会)

- 第 7 条 原則として各月の第1火曜日に役員会との連絡、協議を目的とする班長会を開催する。
- 2 開催場所は自治会館、開催時間は原則として毎月午後7時からとする。
 - 3 班長は欠席の場合、代理を出席させるものとする。

(班長の業務)

- 第 8 条 班長は本会の業務の遂行に努めるとともに、次のことを行う。
- (1) 班長は転出入者がある場合、直ちに役員に報告するとともに転入者に対して所定の入会申込書を渡し、入会を勧誘する。
 - (2) 班長は回覧・配布物を班長会で受領するほか、ブロックごとにリレー方式で受領し、すみやかに回覧、配布する。
 - (3) 班長は回覧物を回覧後6か月間保管する。
 - (4) 班長は緊急を要する場合、ブロックごとに口頭連絡を行い、最後の班長は最初の伝達者に連絡完了を報告する。

(5) 班長は第17条に定める慶弔の事項を、直ちに役員会に報告する。

第3章 常任委員会および専門委員会等

(常任委員会)

第9条 常任委員会として交通安全委員会、防犯防火委員会、広報委員会、環境・衛生委員会、福祉委員会等を設置する。

2 常任委員会は役員及び必要に応じ役員会が委嘱した会員またはその代理人で構成され、委員長には役員を充てる。

(専門委員会)

第10条 専門委員会は役員会が必要と認めた場合、役員会が指示した目的を達成するために設置する

2 専門委員会は会長が委嘱した会員またはその代理人で構成され、委員長は互選により定める。

(顧問)

第11条 役員会は顧問を委嘱することができる。

2 顧問の任期は1年とする。期の途中で委嘱した場合は残存期間とする。

3 顧問は要請により役員会に出席し、業務に関し発言することができる。ただし議決権はないものとする。

第4章 会費等

(会費等の種別)

第12条 会員は次の各号に掲げる費用を会費等として納入するものとする。

(1) 本会の運営費用として総会が議決した額の会費

(2) 特定の活動費用として役員会が議決した臨時費

(3) 会員の共同負担が必要と役員会が認めた特別費

(会費等の納入)

第13条 5月当番の班長は前条の会費1か年分を班ごとに徴収し、6月定例班長会の際、会計役員に納入する。

2 会員に特別の事情がある場合、役員会はその会員の会費等を減免することができる。

3 入退会した会員の会費等は次の通りとする。

(1) 会則第6条により入会した場合はその当月の会費等から徴収

(2) 会則第8条により退会した場合はその翌月以降の会費等を返却

第5章 役員を選出

(公募)

第14条 役員会は任期終了の2か月以前に期間を定め、会員に対し次期役員候補者を募集しなければならない。

2 会員から立候補の届出を受理した場合はその期間後、候補者の氏名その他必要な事項をあらかじめ会員に周知するとともに、総会に選任を諮るものとする。

(推薦委員会)

第15条 前条の手続きを経て立候補がない場合は推薦委員会を設けて候補者を選出する。

2 推薦委員会は各ブロックより選出されたそれぞれ2名以内の会員および役員2名で構成する。

(役員欠員補充)

第16条 役員に欠員が生じたときは役員会が会員より選出し総会に諮るものとする。

第6章 慶 弔

(慶弔の種別)

第17条 会員または生計を同じにする同居の家族が次の各号に該当する場合は役員会が定める祝意または弔意の金品を贈ることとする。

- (1) 出産
- (2) 小学校入学
- (3) 成人
- (4) 逝去
- (5) 不慮の災害、事件、事故による重大な被害
- (6) 火災
- (7) その他上記に相当すると役員会が認めた場合

第7章 自治会館

(会館の管理運営)

第18条 本会が湘南鷹取3丁目自治会と共同所有する自治会館の管理運営は両自治会が共同で行う。

(会館運営委員)

第19条 会館運営は両自治会が協議して定めた規則に基づいて行い、両自治会が選任した会館運営委員がこれに当たる。

- 2 役員会は会員またはその代理人より会館運営委員を選出し、委嘱する。

第8章 細則の変更

第20条 この細則は役員会において役員の3分の2以上の同意を得なければ変更することができない。

付 則

1. この細則の施行は認可地縁団体として横須賀市長から認可を受けた日からとする。
2. この細則の施行にともない、昭和54年5月1日施行の細則は廃止する。

付 記

横須賀市指令市第28号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第260号の2
第1項の規定により認可する。

平成7年6月12日

横須賀市長